

【情報公開文書】

2023年12月15日作成

Ver.2.0

研究課題名	乳癌に対する手術・薬物療法の治療成績に関する検討
所属（診療科等）	長崎大学病院 乳腺・内分泌外科
研究責任者	久芳 さやか（講師）
研究機関	この研究は長崎大学病院 乳腺・内分泌外科のみで実施します。
研究期間	2021年5月18日～2030年12月31日
研究目的と意義	<p>乳癌は日本人女性で最も罹患数の高い癌であり、年間9万人以上が乳癌と診断されています。好発年齢は45-50歳と60-65歳の二峰性を示すが、若年であるAYA世代（Adolescent and Young Adult）の患者が多いことが乳癌の特徴です。</p> <p>初期の乳癌治療では手術・薬物療法・放射線治療などの治療を組み合わせで行っています。手術には乳房全切除術と乳房部分切除術があり、乳房全切除術を行う場合では患者の希望により乳房再建を行っています。インプラントを用いた乳房再建では、プレスト・インプラント関連未分化大細胞型リンパ腫が報告されており、術後も長期的な経過観察が必要です。薬物療法では、内分泌療法や化学療法を行っています。乳癌は若い世代にも患者が多く、妊孕性の温存、就労や子育てと乳癌治療との両立など様々な困難に直面しながら治療を行っています。</p> <p>遠隔再発治療では、患者の生活の質（QOL）を保ちながら治療を行い、生存期間の延長を目指すことが治療の目標となります。新規薬物療法の出現で治療の選択肢は増えてきましたが、経済的な負担も増えていることが報告されています。このように癌治療だけでなく患者の価値観を共有しながら、治療方針を立てていくことが求められています。それゆえ、手術手技や薬物療法の治療成績のデータを蓄積し、解析したデータを報告する事が将来に向けての治療成績の改善に必要であると考えられます。</p> <p>本研究の目的は、乳癌に対する手術、薬物療法、放射線治療を含めた術後成績を解析することにより、長崎大学病院 乳腺・内分泌外科における乳癌治療における現状を把握し、その治療効果を明らかにすることです。</p> <p>さらに本研究により解析したデータを報告する事が将来に向けての治療成績の改善を行う事ができると考えています。</p>
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>2009年1月1日から2026年12月31日までの間に当科で乳癌に対して手術を行った患者さん1500名。</p>

	<p>●利用する情報</p> <p>① 臨床所見(年齢、性別、身長、体重、ECOG Performance Status)</p> <p>② 既往歴、生活歴、家族歴、</p> <p>③ 血液学的所見 血球分画、CRP、肝機能 (Bil、LDH、AST、ALT、ALP、Alb、TP)、腎機能 (BUN、Cr、Na、K、Cl)、腫瘍マーカー (CEA、CA15-3)、BRCA 画像検査所見 (MMG、CT、MRI、PET-CT)</p> <p>④ 手術所見 (術式、手術時間、出血量)</p> <p>⑤ 病理学的所見(組織学的分類、腫瘍径、リンパ節転移、根治度、核 Grade、ER、PGR、HER2、Ki-67)</p> <p>⑥ 有害事象内容</p> <p>⑦ 術前術後補助療法の有無・術後経過・合併症の有無</p> <p>⑧ 治療経過</p> <p>本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>●研究方法</p> <p>上記データを用いて、乳癌に対する手術、薬物療法と乳癌の治療成績、有害事象の関連について検討し、治療の臨床的意義を明らかにします。</p> <p>抽出した情報は、パスワード付きファイルを用いて管理を行います。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：大坪 竜太 (医師)、久芳 さやか (医師) 長崎大学病院 乳腺・内分泌外科</p> <p>住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号</p> <p>電話 095 (819) 7304 (大坪)、095 (819) 7316 (久芳)</p> <p>FAX 095 (819) 7306 (大坪)、095 (819) 7319 (久芳)</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く)</p> <p>長崎大学病院では、患者さんとそのご家族を対象とした相談窓口を設置しております。</p> <p>長崎大学病院 医療相談室</p> <p>住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1</p> <p>電話：095-819-7200</p> <p>受付時間：月～金 8：30～17：00 (祝・祭日除く)</p>